

入学試験過去問題
数学

東京大学（理科）

対象年度：2026年

試験時間：150分

問題数：6問

配点：120点

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 1 問

- (1) 関数 $f(\theta) = \sin \theta - \theta + \frac{\theta^3}{6}$ の区間 $-1 \leq \theta \leq 1$ における最大値 M および最小値 m を求めよ。
- (2) (1) で定めた M に対し, 次の不等式を示せ。

$$\frac{7}{8}\pi \leq \int_0^{2\pi} \sin(\cos x - x) dx \leq \frac{7}{8}\pi + 4M$$

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 2 問

n を正の整数とする。座標平面上の $3n$ 個の点がなす集合

$$\{(x, y) \mid x, y \text{ は } 1 \leq x \leq 3, 1 \leq y \leq n \text{ を満たす整数}\}$$

から相異なる 3 点を選ぶ。ただし、どの 3 点も等確率で選ばれるものとする。選んだ 3 点が三角形の 3 頂点となる確率を p_n とする。

(1) p_5 を求めよ。

(2) m を 2 以上の整数とする。 p_{2m} を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 3 問

座標空間内の原点を中心とする半径 5 の球面を S とする。 S 上の相異なる 3 点 P, Q, R が次の条件を満たすように動く。

条件： P, Q は xy 平面上にあり，三角形 PQR の重心は $G(2, 0, 1)$ である。

以下の問いに答えよ。

- (1) 線分 PQ の中点 M の軌跡を xy 平面上に図示せよ。
- (2) 線分 PQ が通過する範囲を xy 平面上に図示せよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 4 問

k を実数とし、座標平面上の曲線 C を $y = x^3 - kx$ で定める。 C 上の 2 点 P, Q に対する以下の条件 (*) を考える。

条件 (*) 原点 O , 点 P , 点 Q は相異なり、 C の O, P, Q における接線のうち、どの 2 本も交わり、そのなす角はすべて $\frac{\pi}{3}$ となる。

ただし、2 直線のなす角は 0 以上 $\frac{\pi}{2}$ 以下の範囲で考えるものとする。

- (1) 条件 (*) を満たす P, Q が存在するような k の範囲を求めよ。
- (2) k が (1) で定まる範囲にあるとする。 P, Q が条件 (*) を満たすように動くとき、 C の O, P, Q における接線によって囲まれる三角形の面積 S の最大値を M , 最小値を m とおく。ただし、3 本の接線が 1 点で交わる時は $S = 0$ とする。 $M = 4m$ となる k の値を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 5 問

複素数平面上の原点を中心とする半径 1 の円を C とする。複素数 α と C 上の点 $P(z)$ に対し、 $w = (z - \alpha)^3$ とおく。 P が C 上を動くときの点 $Q(w)$ の軌跡を D とする。

- (1) $\alpha = -3$ とし、 w の偏角を θ とおく。 P が C 上を動くとき、 $\sin \theta$ がとりうる値の範囲を求めよ。
- (2) α が次の条件を満たすように動く。

条件： D は実軸の正の部分および負の部分の両方と共有点を持つ。

複素数平面上の点 $R(\alpha)$ が動きうる範囲の面積を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

第 6 問

n を正の整数とする。 n の正の約数のうち、3 で割って 1 余るものの個数を $f(n)$ 、3 で割って 2 余るものの個数を $g(n)$ とする。

- (1) $f(2800)$, $g(2800)$ を求めよ。
- (2) $f(n) \geq g(n)$ を示せ。
- (3) $g(n) = 15$ であるとき、 $f(n)$ がとりうる値を求めよ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)